

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

島根県

外国人雇用に関する企業の皆様向けの島根県庁の支援策を

紹介します

2024/04/28

今回の投稿では、現在の島根県内での海外との関係として、最も目に見える関係の一つである

「**外国人雇用**」を取り上げます。外国人の働いている状況の紹介は別の機会にさせていただくこととし、今回は、**外国人雇用に関する企業の皆様向けの島根県庁の支援策**について、紹介します。



県内の外国人労働者4900人余で過去最多 島根労働局

2024/02/05

県内で働く外国人の数は4900人余りで、これまでで最も多くなったことが島根労働局のまとめでわかりました。島根労働局は、県内の事業所で働く外国人の数を毎年10月末時点で調査していて、去年は4978人で前の年よりも365人、率にして7.9%増え、統計を開始した2007年以降で最も多くなりました。国籍別では、ブラジルを抜いてベトナムが1307人と、統計開始以来初めて最も多くなり、次いでブラジルが1141人、フィリピンが567人などとなっています。在留資格別では、技能実習生が1850人と最も多く、次いで永住者や日本人の配偶者がいる人などが1758人となっています。



[県内の外国人労働者4900人余で過去最多 島根労働局 | NHK 島根県のニュース](#)

「令和6年度鳥取県特定技能外国人（介護）マッチング支援事業」受託

2024/07 /04

パーソルグループで外国人材に特化した人材サービスを提供するPERSOL Global Workforce（パーソル グローバルワークフォース）株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：多田 盛弘）は、「令和6年度鳥取県特定技能外国人（介護）マッチング支援事業」（以下、本事業）を受託したことをお知らせいたします。



外国人の生活支援サポーター「育成就労制度」など学ぶ 鳥取

2024/07 /25

鳥取県内に住む外国人の生活を支援するボランティアの勉強会が鳥取市で開かれ、外国人材を確保しようと新たに設けられることになった「育成就労制度」などについて学びました。鳥取市で開かれた勉強会には、県から委嘱を受けて外国人の生活を支援する「多文化共生サポーター」に登録しているボランティアや、自治体の職員など16人が参加しました。勉強会では、広島出入国在留管理局の担当者が、技能実習制度を廃止して新たに設けられることになった、外国人労働者の「育成就労制度」について説明しました



避難所外国人と対話カード

2024/11 /22

県国際交流財団（鳥取市）が、県内に住む外国人が災害時の避難所などで活用できる、英語やベトナム語など4か国語のカードを作った。日本語が話せなくても、カードを見せて文章を指さすことで、家族や大使館への連絡を希望したり、体調不良を訴えたりできる。同財団は「被災時に安心感を持ってほしい」と活用を呼びかける。



カードの活用を呼びかけるギさん（左）と夢本さん（鳥取市扇町で）

ベトナムから来日10年、〈あっ地震です〉日本語で考えた防災かるた

2024/10 /12

災害への備えや避難する際の注意点を遊びながら学べる「防災かるた」。日本で暮らす外国人にも防災知識を学んでほしいと、ベトナム出身の女性がやさしい日本語の防災かるたを作った。「昨年の台風では大きな被害が出て、水道も2週間使えませんでした」グエン・ギさんは、自分で撮影したという映像をスクリーンに映した。山あいの川にかかる小さな橋をのみ込みそうな激しい濁流の映像だ。



やさしい日本語の防災かるた=2024年9月24日午後2時53分、鳥取市、富田祥広撮影

労働力不足の解消へ“外国人材の帰国後”に着目

2024/12 /13

慢性的な労働力不足が続き、企業が頼りにしているのが技能実習生などの外国人材です。県内で働く外国人材は年々増加している一方、技能実習生は最長5年など、日本で働ける期間には限りがあります。こうしたなか、出雲市に、“外国人材の帰国後”に着目した企業があります。どんな狙いなのか取材しました。

